

## 港湾における気候変動適応策の実装に向けた技術検討委員会を開催します

令和2年8月に交通政策審議会より答申された「今後の港湾におけるハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策のあり方」や同年12月に気象庁・文部科学省から公表された「日本の気候変動2020」を踏まえ、港湾における気候変動適応策の実装に向けた具体的な対応方針について検討を開始します。

## 記

- 日 時：令和3年2月24日（水）10：00～12：00  
場 所：国土交通省（中央合同庁舎第2号館）1階 共用会議室3A  
議 事：1. 趣旨説明  
2. 海面水位・高潮・高波の観測事実と将来予測  
～「日本の気候変動2020」から～（気象庁）  
3. 気候変動適応策の実装に向けた課題  
※委員名簿は別紙のとおりです。

## その他

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、WEB会議にて開催します。
- ・ 会場において、冒頭挨拶（議事開始前）まで撮影・傍聴が可能です。  
また、会議の内容はWEB傍聴が可能です。  
なお、同日17時30分から同会場にて事務局による記者ブリーフィングを行います。
- ・ 撮影、傍聴又はブリーフィングへの出席を希望される方は、2月22日（月）17時までに、出席希望（撮影・傍聴、WEB傍聴、ブリーフィング）、会社名、氏名、連絡先を下記宛先まで送付願います。  
<電子メール送付先：hqt-kaigan.bousai.20【@】gxb.mlit.go.jp>  
※メールアドレスの【@】を@に置き換えてご連絡ください。  
※当日のWEB会議への参加方法等は、参加者の決定後、メールにてお知らせいたします。
- ・ 資料及び議事要旨は、後日、国土交通省ウェブサイトに掲載いたします。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、「入館時の消毒液による手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」の徹底等の感染症予防対策のご協力をお願い申し上げます。  
また、風邪のような症状がある場合には、ご自身の体調を優先し、参加を控えていただきますよう、併せてお願い申し上げます。

問合せ先：港湾局海岸・防災課 浅見、渡邊、小林  
TEL：03-5253-8111（内線46712、46735、46732）  
03-5253-8688（直通）  
FAX：03-5253-1654

## 港湾における気候変動適応策の実装に向けた技術検討委員会

## 委員名簿

区分	氏名	所属
委員長	磯部 雅彦	高知工科大学 学長
委員	河合 弘泰	国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 海洋水理研究領域長
〃	鈴木 高二朗	国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 耐波研究グループ長
〃	田島 芳満	東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授
〃	富田 孝史	名古屋大学大学院 環境学研究科 都市環境学専攻 教授
〃	橋本 典明	九州大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター 教授
〃	平石 哲也	京都大学防災研究所 流域災害研究センター 沿岸域土砂環境研究領域 教授
〃	平山 克也	国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 波浪研究グループ長
〃	宮田 正史	国土技術政策総合研究所 港湾施設研究室長
〃	山本 康太	国土技術政策総合研究所 沿岸防災研究室長

(敬称略、委員長以外の委員については五十音順)